

# 県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和6年1月5日発行(第4号)

## 令和6年 子どもたちに夢と感動を

明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年を迎え、子どもたちや先生方一人一人にとりまして、本年が輝かしい1年になりますことを願っております。

昨今のスポーツ界では、大谷翔平選手をはじめとする多くの日本人選手の活躍が話題になっています。ルールをよく知らない私でも思わず応援に力が入り、選手たちの姿から多くの感動を得ています。この感動やわくわく感は、子どもたちの心も大きく動かし、その夢を膨らませていることと思います。2024年はパリ五輪開催の年。子どもたちと多くの感動を共有できる年にしていきたいでしょう。

さて、「感動の共有」ということでは、管内の各学校におきましても、先生方と子どもたちが感動を共有する場面をいく度も目にしていまいりました。県西教育事務所の経営構想にある「授業中での人づくり」が、先生方の熱意、アイデア、組織力などを背景とした素晴らしい授業という形で具現化され、子どもたちに夢や感動を、そして生きる力を与えてくれました。

本年も力を合わせて「夢と感動のある学校づくり」に努めてまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

県西教育事務所長 須藤 恵美



## 「中学生のための教職セミナー」開催

令和5年11月18日(土) 茨城県教育研修センター

中学生に、教職の魅力を伝え、教職に就こうという思いを深めてもらうために、「中学生のための教職セミナー」を実施しました。平成29年から始まった本事業も今年度で7回目となります。協力者の先生方と中学生によるグループトークでは、教職のやりがいや直面している課題等が話題となり、質疑応答が行われました。先生方からは、自身の具体的な実践や胸が熱くなる瞬間について語る姿が見られました。参加した中学生からは、「先生になれるよう努力していきたいです。」等の前向きな発言があり、充実した時間となりました。

### 参加した中学生の感想(一部抜粋)

- ・普段は先生にゆっくり質問をしたり、教員の仕事について聞いたりする機会がないので、今回はとても貴重な経験ができ、とても楽しかったです。
- ・教員の仕事についてもっと興味が湧いたとともに、自分が将来どうなりたいかなどを考えるきっかけとなったのでとてもよかったですと思いました。

### グループトーク協力者の先生方

- ・大島紗也加 教諭 (諸川小)
- ・桂木 真希 教諭 (結城中)
- ・野澤 友彦 教諭 (桃山学園)
- ・小田かなは 養護教諭 (鳥羽小)
- ・岩田 真奈 教諭 (高萩高校)
- ・中島 文香 教諭 (土浦特別支援)



「Zoom 会議システム」でのグループトークの様子

## 令和5年度「茨城県幡谷教育振興基金」贈呈式

令和5年11月22日(水)、県庁講堂において、令和5年度「茨城県幡谷教育振興基金」贈呈式が開催されました。これは、理科教育に顕著な成果を収めた取組を推進し、本県の理科教育の振興を図る目的で行っているものです。

受賞校:坂東市立東中学校

選出理由:「課題を見だし、主体的に解決できる生徒の育成」

「茨城県自然博物館との連携(博学連携、校外学習での活用など)」

「市科学フェスティバルにおける、地域との連携による理科の楽しさの伝達」等

取組内容  
掲載場所

茨城県教育員会 HP >学校教育 >小・中学校教育  
>確かな学力を育む >令和5年度幡谷教育振興基金表彰校の取組



〈贈呈式の様子〉

## 優秀教職員の表彰式を開催

令和5年11月29日(水)に「優秀教職員表彰式」を県西教育事務所において開催し、次の2人に須藤恵美所長が表彰状を手渡しました。

### 優秀教職員

古河市立三和中学校 中川 美幸 主幹教諭  
坂東市立南中学校 相田 裕介 教諭

おめでとうございます。今後のさらなる活躍を期待しております。



〈中川主幹教諭〉〈相田教諭〉

## 「小中学校における遠隔教育実証研究事業」の取組から学ぶ

### —「単元を見通した授業づくり」の大切さ—

今年度、下妻市の2校の小学校(騰波ノ江小、大形小)に「ピンポイント型(プログラミング)」の遠隔教育実証研究事業に協力いただいております。

騰波ノ江小学校では総合的な学習の時間において、大形小学校では算数科において、専門人材である倉澤昭客員准教授(放送大学)より遠隔(オンライン)での指導を受けながら実践してきました。いずれの実践においても、「単元を見通した授業づくり」をこれまで以上に意識した指導計画を立案していました。「単元のどの時間に、遠隔での指導をいただくとより効果的か」を考え、意図的・計画的に遠隔での指導を取り入れながら授業を進めていました。その結果、その単元で身に付けるべき力の確実な定着はもちろんのこと、主体的に学習に取り組む態度の育成にもつなげることができていました。両校の実践から、「単元を見通した授業づくり」の大切さを再確認することができました。

騰波ノ江小 総合的な学習の時間(第6学年)  
「騰波ノ江地区の未来をえがこう」

児童が作成した発表データについて、専門人材の先生からグループ別に指導をしていただきました。



大形小 算数科(第6学年)  
「拡大図と縮図」

プログラミングを用いて、拡大図や縮図を作図したことで、確実な理解につながりました。



後日、報告書が配信される予定です。併せて御活用ください。※エリア型(三和地区)については次号掲載予定です。

## 学びのイノベーション推進プロジェクト(小学校外国語)実証研究校第2回公開授業開催

令和5年11月6日に、令和5年度学びのイノベーション推進プロジェクトに係る実証研究校(八千代町立中結城小学校)による第2回公開授業が開催されました。

本事業は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したモデル授業を発信することで、小・中学校の各教科において主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を推進し、児童生徒の学力向上に資することを目的としています。今回の公開授業には参集及びオンラインにより140名以上が参加し、安部加代子指導教諭、ブルック・スワンバーグ先生による5学年外国語科の授業及び青木悠喜教諭、ジェニファー・ヒヨシ先生による4学年外国語活動の授業を参観しました。さらに、全体会では文部科学省初等中等教育局直山木綿子視学官より指導助言をいただき、授業改善に向けた視点への理解を深めることができました。



〈安部指導教諭による授業〉

※ 総和中、樺穂小の実践については次号掲載予定です。

## 小学校における理科専科教員等による授業公開

### —モデル校結城市立城西小学校の実践—

令和5年10月11日(水)結城市立城西小学校において、小学校における理科専科教員等による授業公開が参集・オンラインのハイブリット型で行われました。城西小学校では、授業者の黒川充教諭(6学年担任)が中心となり全学年で理科学習指導の改善と児童の学力向上に取り組んでいます。授業公開に至るまでに、様々な授業準備、ミュージアムパークとの連携等、全職員で実践してきました。公開授業においても、「問題意識をもち主体的に追究する活動の場の工夫」、「ICTを活用した実験や意見交流」を授業の視点とし、6学年で育成したい問題解決の力(予想や実験結果を基に、妥当な考えをつくる力)を意識した授業展開の工夫が見られました。



〈児童の意見交換の様子〉